



## 【7月～8月の活動予定他】

### <7月度理事会>

日時:7月27日(金)

10:00～12:00

場所:文化研修センター

### <阿波おどり 参加者募集>

日時:8月15日(水)

17:00～21:00

集合場所:文化研修センター

参加費:500円(外国人)、

500円(日本人)

申込み:萩森または瀬尾まで

### 国際交流連



### <新ALT歓迎会 参加者募集>

新ALTが2名来市されます。ぜひご参加ください。

日時:8月19日(日曜日)19時～

場所:藤乃井(森山郵便局の北)

会費:3000円

申し込み〆切:8月10日

申し込み先:筑木

090-7145-3831

(知らない電話には

出ないので

ショートメールでの申

し込みをお願いします)

なお、当日のキャンセルはご遠慮ください。



<2017年歓迎会>

### <祝 お知らせ>

● 日本語教室のベトナム人実習生が「外国人日本語弁論大会」に出場決定！(7/22開催)

総会・講演会でスピーチを行った3名のうちのベトナム人女性ホックさん

## ◆ 国際理解授業 レポート

浅野 充代

6月29日、鴨島小学校の6年生、3年生と徳島大学留学生との交流活動が行われた。YIAからは浅野、市原、後藤田、萩森の4名が参加しました。

- ・ モンゴルからの留学生～かつてはヨーロッパや中国を征服したこともあるモンゴルの歴史を紹介。チンギスハンやフビライハン、元寇にもふれた。・夏41℃から冬-50℃にまでなる厳しい気候やゴビ砂漠などの自然を紹介。・伝統的衣装デールの紹介。今は祭りや結婚式の時に着ることが主であるが、新しいスタイルのデールが作られ、文化は続いていることを誇りにしている。・春と冬は肉をたくさん食べるが、暑い夏は乳製品を食べることや海がないので魚はあまり食べないという食生活の紹介。
- ・ 中国からの留学生～上海の街並、食べ物、動物園や科学技術館などの施設を紹介。またいわゆるチャイナドレスとは異なる中国の伝統的衣装を着て見せてくれた。
- ・ タイからの留学生～エメラルド寺院、伝統的衣装、食べ物、水上マーケットの様子などを紹介した。

6人の留学生が以上の内容で映像を使いながら自国の文化を説明した。6年生は事前学習で準備したワークシート上に熱心に記録をとっていた。また、モンゴルの厳しい冬には何を着るのか、タイの伝統的な遊びは何かなど質問も積極的であった。徳島の良い所はどこか、という質問には小松海岸、眉山、鳴門の渦という返答があり、徳島に好感を持ってきているという印象を受けた。最後に色紙と児童の折り紙作品のプレゼントがあり、学生たちは喜んでいた。授業終了後も、残って個人的に質問をする児童が多く、異文化に対する関心の高さを示していた。

3年生は映像が変わるごとに「すごい！」「えー、知らない」など子供らしい素直な反応で盛り上がった。最後に「ありがとうの花」を合唱し、一人一人と握手をして終わった。

2学年共に同じ内容であったが、学年に応じた児童の反応を見ることができ楽しく参加させてもらえた。また、学生たちの発表練習や小学校の先生方の事前学習の準備があつて交流活動が成立するのだということも実感した。



<6名の紹介>



<中国の民族衣装を着て>



<お別れ握手会>

## ◆書道ワークショップで「書」に初挑戦 萩森健治

書道家の吉野美苑さんをお招きし、6月17日(日)に書道ワークショップを行いました。参加者はベトナムからの実習生15名とYIA会員6名の計21名です。

まず、書道の基本として書くときの姿勢、半紙の置き方、筆の持ち方、筆の基本的な運びなどの指導を受けました。つぎに、縦、横の線を書く練習から「永」という字を手本を見ながら書く練習、その次は「夢、海、波、幸、美、心、風、功、愛、など」の漢字の中から各自が好きな漢字を選び、吉野先生の直接指導を受けながらそれを書く練習。皆さん上手に書けるようになったところで和紙に清書しました。各自が書いた「書」を持って全員集合して記念撮影しました。



参加した皆さんは、少し緊張しながらも楽しそうに「書」に挑戦していました。参加したベトナム人実習生らは、書道に挑戦するのはほとんどが初めてでしたが、上手に書けていました。参加者が書いた「書」は秋の菊人形展の期間中に市役所ロビーに展示されます。



## ◆通訳ボランティア報告 横山美津子

プリンストン大学からの阿波和紙滞在(6/19~6/23)  
通訳担当:新居、長井、市原、横山 +1名(石井町から)  
参加者 :芸術部学部長、教授、アシスト2名、学生13名  
合計17名

Princeton大学からは、初めての研修来日。東京、山梨、京都そして徳島などでワークショップに参加し、その土地の文化体験をした。トータル1ヶ月ほどの日本滞在。阿波和紙会館では、楮の皮はぎから、繊維をばらすための打解、紙漉きと結構根気と体力が必要な作業が連日続いた。



<和紙研修体験>



夜には他の地域と違った体験をと、阿波踊り、書道と和太鼓のレッスンを紹介。太鼓一家の中西理事長、書道家の吉野さんにお問い合わせするとすぐに快諾。生徒たちは大喜びでにぎやかな一晩だった。それにしても急なお願いにもかかわらず、事情を察知し全面協力していただける人たちが近くにいるのは本当にありがたい。こんな経験をも通してきっと親日家になってくれるだろうと願いながら半ば確信もしている。通訳は時に大変なこともあるが、結構自分達も和紙研修、文化体験共に楽しんでいる。



<和太鼓 体験を終えて>

### YIA定例活動 他

#### ◆英会話教室 ネイティブとしゃべってみましょう!

【鴨島教室】毎週木曜日19:00~21:00

場所:吉野川市文化研修センター2F

【山川教室】毎週火曜日19:00~21:00

場所:山川公民館

【川島教室】毎週水曜日19:00~21:00

場所:川島公民館

英会話教室のお問合せは

市役所生涯学習課 ☎22-2271へ

#### ◆日本語教室

【鴨島教室】 ☎ 22-0015

場所:吉野川市文化研修センター2F

毎週日曜日 13:30~15:30

(初級および中級日本語講習)

ご意見・情報などをお寄せください。

広報部長 長井まで(TEL090-1575-8634)

eメール; yoshino\_kokusai@yahoo.co.jp